

平成28年度第1回奈良県学校・地域パートナーシップ事業

地域コーディネーター連絡会実施報告

- 1 日時 平成28年6月23日(木) 14:00~16:00
 2 会場 奈良県産業会館 5階 大会議室
 3 参加者 県内学校・地域パートナーシップ事業 地域コーディネーター 計 92名
 4 内容 14:00~14:05 開会
 14:05~14:15 説明
 「地域と共にある学校づくり」について
 14:15~15:05 対談 「子どもと共に地域が育つコーディネーターの役割」
 奈良市立富雄中学校区地域教育協議会 総合コーディネーター
 新谷 明美
 奈良県学校コミュニティ・コーディネーター
 有田 佐
 15:10~15:55 情報交換
 15:55~16:00 閉会



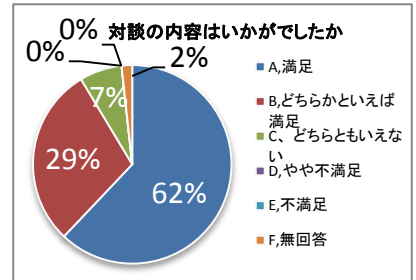
5 対談概要

①「コーディネーターの役割」

先生方に、子どもたちに全力でじっくり向き合ってもらうためには、まずは、地域か学校を「支援」という視点が大切だと考える。学校が何を望んでいるのか、どんな助けが必要なのかを丹念に聞き取り、学校や子どものニーズと地域の方の熱い思いをマッチングさせることが大事。まず、「支援」の部分で学校から信頼を得たことが、今の「連携」・「協働」につながっていると思う。「支援」なくして「連携」なし。「連携」なくして「協働」なし。」だと考える。

②「コーディネーターに求められるもの」

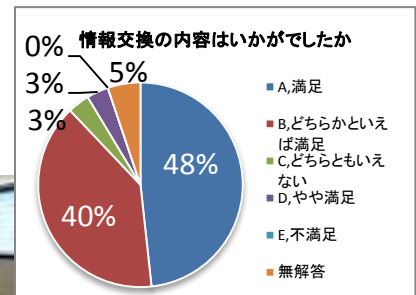
コーディネーターにとって大切なことは、人との付き合いを楽めること。地域の人材と学校とをつないで、学校を支援していくためには、まずは、忙しい先生方に代わって、学校の立場で、ボランティアの方々に挨拶やお礼を言うことから始まり、時には学校が言いにくいことを地域に代弁することもある。だから、そういうことを苦痛に思っているのはコーディネーターはできない。



6 情報交換

(テーマ:「それぞれの学校・地域で求められている地域コーディネーターの役割とは」)

- ・ まずは、地域の人に、事業のことを知ってもらうようにしたい。また、学校内でも、ボランティアの存在を知らせてもらうようにしたい。
- ・ 基本は、「自分たちで」という姿勢が大事。
- ・ 新谷さんのお話大変共感した。ボランティアの方々に、感謝の気持ちを伝えることが大事。
- ・ 学校行事に合わせた計画を立てるなど、(学校の)現状に合わせたメニューにしたい。



7 感想

- ★ コーディネーターになったばかりで、どうしてよいかわからなかったのが、何をどこまですべきなのか、どういう心構えが必要なのか、よくわかりました。(PTA・保護者)
- ★ (良い意味での)「先生に何も求めない」という新谷さんの言葉が印象に残りました。(元教職員)
- ★ 新しい活動の紹介など、今後も期待しています。(地域)
- ★ 対話の内容は、私の思いと重なっている。今のままで進んでいきたい。(地域)

